



神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆薩摩川内市のロケ地を巡って実感したこと◆

こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの米山です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。



さて、10月31日(土)、11月1日(日)の1泊2日で、鹿児島県の薩摩川内(さつませんだい)市に義理の姉と行ってきました。実はこの日、義理の兄である故佐々部清監督の最後の作品『大綱引の恋』の先行公開イベントが鹿児島であったのです。

今回、佐々部清監督の遺作となってしまう、このイベントに監督の奥さん(私の義理のお姉さん)と監督の娘さんに、プロデューサーの臼井さんから「せっかくだから来ませんか？」と声が掛かっていました。ただ、監督の娘さんは、前々回の通信に書きましたように、結婚式目前。コロナ禍に長距離の移動は避けようとなりました。また、先行公開の日の夜は、この作品に携わった(ご支援いただいた)薩摩川内市の方々との慰労会があり、お付き合いの場に慣れている者が必要ということで、私が義理のお姉さんのサポートを兼ねて行くことになりました。

この映画『大綱引の恋』のHPや予告編をぜひご覧になっていただきたいのですが、簡単にどういう映画かと言いますと、鹿児島県薩摩川内市に420年続く勇壮な川内大綱引(せんだいおおつなひき)に青春をかける鳶(とび)の跡取りと、甕島(こししま)の診療所に勤務する韓国人女性研修医との切ない恋と、その2人を取り巻く家族模様を描いた作品です。



土曜日、先行公開で作品を見て、慰労会では薩摩川内市の市長さん他、ご支援いただいた皆様に「佐々部の関係者です」と、お礼とご挨拶をさせていただきました。

そして、日曜日、プロデューサーの配慮で、ロケ地を見学させていただきました。(2枚目へ→)

(続き→) 今回の映画『大綱引の恋』のロケの大半は、薩摩川内市内で行われたということで、市内を巡りました。

新田神社、寺山レストラン、川内大綱引保存会、JR川内駅、山元酒造、石走ラーメン、居酒屋綱ごころ等々、レンタカーであちこちを移動。ロケ地に着くと撮影時のエピソードを含めてプロデューサーが話してくれたので、映画のシーンを思い出しながら、クスッと笑顔になったり、目がうるっとしたりしました。

そして、私自身、驚いたのが美術さんと言われる人たちの仕事ぶりです。前日に作品を見ているので、ああ、あのシーンの場所だとすぐわかるのですが、映画の中に映るその場所と、実際に自分の目で見るとではギャップがあったのです。

例えば、鳶職人の主人公が勤める有馬組のプレハブの事務所のシーン。実在する宮下組のプレハブ事務所が使われているのですが、映画の中ではその事務所内に神棚があり、手をぱんぱんと叩いて拝むシーンがあるのですが、実在する宮下組の事務所には神棚がないのです。

他の多くのロケ地でもそうでしたが、看板一つ、実際にはないものが、美術さんたちによって、全く違和感なくそこに作られているのです。それも、わずかな数時間の撮影のために。撮影が終われば、すぐに元通りにするのも美術さんです。

その美術さんたちの仕事ぶり。映画を観るだけでは、決してわからないその見えないところでの仕事ぶりのすごさに驚き、美術さんを筆頭に見えないところで支えている人たちが、たくさんいるんだなあ、実感しました。

また、生前、佐々部がそういった表に出ない仕事をしているスタッフの人たちをとてども大事にしていたことを知っていたので、改めて、佐々部の人間性というものに、敬意を表したいという気持ちになりました。

映画『大綱引の恋』は、2021年5月GW明けから全国で公開予定です。是非、劇場に足をお運びいただければと思います。

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

【発行元】

株式会社
神奈中情報システム

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート！

株式会社神奈中情報システム

〒254-0034 神奈川県平塚市宝町3番1号

平塚 MNビル11階

TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

発行責任者:神奈中情報システム



大森



米山